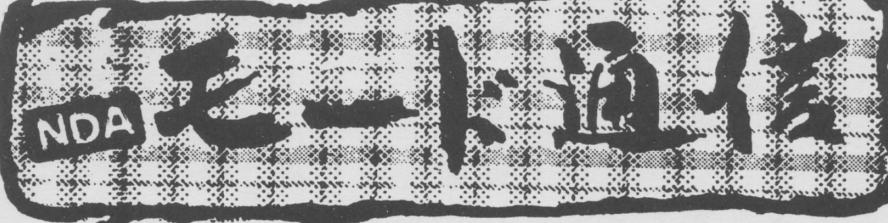


日本洋装界の歴史は日本洋装協会の歴史



発行所 一般社団法人 日本洋装協会

一般社団法人 日本洋装協会
事務局 〒142-0062
東京都品川区小山2-5-6
TEL (03) 3781-0680
FAX (03) 3785-8780
発行人 中田 真理子
編集人 三鈴 千鶴子
年3回発行 国分 敬子
大日向 鶴子



新しい年に寄せて

参議院議員

(二社) 日本洋装協会名誉顧問
山東 昭子

日本洋装協会の皆様、新しい年明けと共に相変わらずお元気で御活躍の事と存じます。私自身も名誉会長の与謝野馨先生や森山真弓先生から御紹介を受け協会の皆様方と親しくお付き合いさせて頂いておりますが、先生方がこの仕事に誇りを持ち情熱を傾けていらっしゃる姿に同じ女性として頼もしく感動しております。

また、昨年は江種勤先生が「黄綬褒章」、原田敏子先生が「現代の名工」に選ばれ、協会メンバーも一段と励みになる事でしょう。

街には沢山の多様なファションが流れていますが、外国ブランドに日本の洋装技術は絶対に負けません。しかし、直一層センスを磨いて下さる様期待しております。

昨年私の選挙も御支援いただきお陰様で七期目の当選を果たす事が出来ました。今年は午年 安倍総理も私も年男・年女でござります。総理は女性が輝く社会を創ると云つておられます。この一年皆様方が輝き又生き生きとした光る女性の活躍を洋服で光り輝かせて下さる事をお祈り致します。

工) 受章祝賀会、並びに(一社)日本洋装協会新年祝賀会を、保坂三蔵名誉顧問はじめ、関係官庁各業界のご来賓80余名のご臨席をいただき盛大に行われました。

ご来賓のご祝辞を頂き祝賀会は盛大に開催されました。司会は伊賀、遠藤さんです。受章さ

れました江種先生ご夫妻は遠方、広島から出席されて感激です。受賞者代表の謝辞は、原田敏子先生が伸べられました。



黄綬褒章を受章して



江種 勤
(広島県)

新春の候となり皆々様には、益々ご清祥の事とお喜び申し上げます。さて私事平成25年秋の叙勲に際しはからずも、黄綬褒章を拝受の栄に浴し誠に光榮な事と感激致しております。昨年11月13日労働大臣より勲記勲章の伝達を受け褒章を授与されました。当日家内共々皇居に参内いたし天皇陛下に拝謁の榮誉を賜りました。

これもひとえに(社)日本洋装協会の諸先生方の心温かいご指導ご高配の賜物と深く感謝いたしております。

振り返れば、平成2年より日本洋装協会より中央職業能力開発局に於いて婦人子供服製造の既製服、注文服の特級の専門委員として辞令を受け23年という年月が経ちました。

今後は、微力では御座いますが、日本洋装協会の発展のために協力して行きたいと存じます。

最後になりましたが、一般社団法人日本洋装協会のご繁栄とご発展をお祈り申し上げます。

卓越技能章(現代の名工)受章



原田 敏子
(千葉県)

昨年十一月、厚生労働大臣より卓越技能者の一人として表彰を賜り厚く御礼申し上げます。現代の名工の称号は私個人のものではなく、日本洋装協会の実績に対していただいたものと理解しております。

平成五年の入会から二十二年、切磋琢磨するたくさんの仲間を得て、目標を掲げて楽しくやつとられたことを感謝しています。

この度の受章は、「立体パターンメイキングによる美しいシルエットの追及、着物リメイクに独自の世界の確立、最新の縫製技術を注文服に取り入れ普及に努めた。」の三点が評価されたとのことです。

それを実現させてくれたのは、種をまき、温かく見守り、育ててくれた多くの先輩の方々と、同じ志をもつ仲間の存在です。皆様に厚く御礼申し上げます。

これからは、伝統を受け継ぎ、一層の技術の向上に努め、後進の育成と日本洋装協会の発展に尽力していきたいと思います。

新しい会員の皆様にはこの道を歩んで確かな未来を手に入れてください。

長かった道のり、50年が過ぎ、今出会った道の中、胸がいっぱい、なんと言葉にしたら良いのか、考へて居ります。多くの人達の導きにより、たどりついた事の結果だと感謝しなくてはならない沢山の人達がおります。

これからも努力を惜しまず服作りに頑張りたいと思っております。

どこまでも続く、布、針、糸の関わりは私の夢です。

今後とも宜しくご指導お願いします。

全技連マイスター認定



須永 正江
(群馬県)

長かった道のり、50年が過ぎ、今出会った道の中、胸がいっぱい、なんと言葉にしたら良いのか、考へて居ります。

多くの人達の導きにより、たどりついた事の結果だと感謝しなくてはならない沢山の人達がおります。

これからも努力を惜しまず服作りに頑張りたいと思っております。

どこまでも続く、布、針、糸の関わりは私の夢です。

今後とも宜しくご指導お願いします。

この度の受章は、「立体パターンメイキングによる美しいシルエットの追及、着物リメイクに独自の世界の確立、最新の縫製技術を注文服に取り入れ普及に努めた。」の三点が評価されたとのことです。

全技連マイスターに認定されて



金武 節子
(佐賀県)

「洋装店も時代の流れと共に様変わりする中、注文服に『だわり』と『一級技能士』を独学で取得して独立した日から早三十年が過ぎました。その間高校の講師、町の洋裁講座と活動した五年前何げなく雑誌のコンテスト記事を目にして初めて出品した作品が内閣総理大臣賞を頂きそれが私とNDA協会との出会いでした。自分の生き方を変える程の運命的な出会い。この出会いを大切に今後は更なる技術向上に精進してマイスターとしての責務を果たして

行きたいと思います。最後に内野先生初め東司先生、石井先生に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

全技連マイスター認定



日比 和子
(東京都)

平成二十五年度全国技能士大会に於いて思いがけず東京都から婦人子供服製造部門のマイスターに認定されました事を心から感謝申し上げます。

私の服づくりは大学入学と同時に夜間の洋裁研究所に通い始め一枚の布の面白さ、色、素材、デザイン、技術を考えながらの服づくり、夢、美、愛の面白さを見せてくれるところにつきせぬ、醍醐味があるのです。

平成十八年(社)日本洋装協会に入会し、一級技能士取得、職業訓練指導員取得、グランプリ大会出場、コンクール作品の受賞、国際ファッショニショナーに出品等と挑戦してきました。

これも日本洋装協会の会長を始め諸先生の講師、町の洋裁講座と活動した五年前何げなく雑誌のコンテスト記事を目にして初めて出品した作品が内閣総理大臣賞を頂きそれが私とNDA協会との出会いでした。自分の生き方を変える程の運命的な出会い。この出会いを

これからも一層研鑽を積んで参る所存です。微力ではありますが後進の育成に貢献する喜び楽しさを伝へ技能の伝承に努めて参りたいと思います。今後共更なるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

秋の園遊会に御招聘いただき

高橋 昌子



去る10月31日の秋晴れの良き日に秋の園遊会に出席して参りました。菊の紋章の付いた立派な案内状には天皇皇后陛下の赤坂御苑においての園遊会にお招きのお言葉が有りました。とても驚きましたが有り難くお受け致しました。

私は東門から入門致し、参入券や本人確認をされて胸には名前札を付ける様言われ、緊張致しました。

天皇陛下のお言葉が有りますのでお席にと言われ玉砂利を引き詰めた道を夢中で歩き、会場までつきました。

多勢の御招聘者がいて、自由に散策したり、談笑したりと茶菓のおもてなしを頂きました。

2時を過ぎて君が代の演奏が終わると両陛下のお出ましです。続いて宮様方がお揃いになり、一人ひとりに心温まるお言葉をかけられ身の引き締まる思いでした。夢の様な一日となりました。

この様な貴重な体験をさせて頂いたのも当協会の会長はじめ皆様のお陰と感謝申し上げます。

2014初春セミナーのお知らせ

日 時 平成26年3月8日(土)

場 所 文化学園 東京都渋谷区代々木3-1-22

講 師 稲荷田 征先生 (当協会賛助会員)

テ マ 婦人ジャケットの美しく出来る縫製技術。

ピーカドラペルの剣先を美しく出来る縫製テクニック、雨ぶたポケット。本開き見せ。

持ち物	参加費	会員	一般
筆記用具	5,000円	7,000円	
洋裁用具一式 お弁当	15,000円一律	(03-5490-0099)	

申し込み・問い合わせは

教育部・日比迄

受検者募集案内 検定部

平成26年度前期技能検定願書受付

婦人子供服製造注文服製作一級二級

■申込・問い合わせ

検定部 白井迄 042-364-3946

☆各教室、アトリエで纏めて申し込み下さい。
用紙をお送りします。

検定部の講習会
検定にも実践にも役立つテーマ

コースI 「毛芯仕立ての「テーラード」ジャケット」
コースII 「オーブンカラーベラウス」

申込みの方には後日日時御案内をお送りします。

職業訓練校生徒作品展& 匠の技フェア

平成26年1月15日～2日間職業訓練校の優秀生徒作品の展示や技能士の実演を披露する職業訓練校フェアが開かれました。都立職業能力開発センター各校の作品はミニガーデン、ポップコーンマシーン、パン(展示用)、モデルカーなど地域センターごとに出演して、見る人を楽しませてくれました。

一方技能士大会では作品販売と体験コーナーがあり当協会はシュシュの体験と作品販売を致しました。チユーツク、ヌード、帽子、マフラー等季節に相応しい販売作品を多数、協力頂きました。

この日は関東にも小雪が散らつくほど寒い日で防寒服で接客です。ブースが少し狭いのと風が吹きこんで寒さに苦労しました。作品展示は三鈴、大沼、大日向さんの3点でした。



展示作品



広報部

第51回 技能五輪全国大会に よせて

競技委員 廣谷 きくゑ

厚生労働省、中央職業能力開発協会主催の第51回技能五輪全国大会が、11月23、24日幕張メッセ4ホールで開催されました。今年の課題はプリンセスラインのショールカラージャケット。

前端は、裾が大きく丸くカーブし、アウトポケットも合せて大きくなり、中縫い処理がデザインポイントです。プリンセスライン、ワイングさせたカラーリング、アイロン掛け、立体的に仕上げるテクニックが要求されます。15人の各都道府県より選抜された選手は、10時間で課題を仕上げます。毎回送り出される企業や、専修学校の応援に励まされながら、藍色のジャケットがズラリ並びました。完成に大拍手です。熊本県の上中麻見さんが1位を獲得しました。今回競技会場は理容、美容、フラー装飾が隣合せでしたが、協議参加者の多さに驚きギヤラリーも多く、華やかで、課題を提供し、感性を競技する方法にとても共感しました。運営委員は内野、競技委員廣谷、補佐委員富澤でした。



課題の作品



山本耀司氏

(4)245号

第六回の開催を迎える文化ファッショントークに参加した。ヨン大学院大学のファッショントークに参加した。今年のテーマは「クリエイションの核心」比類なき創造力とサブタイトルが掲げられ、ファッショントーナーの山本耀司氏による特別講演がメインだ。会場になつた遠藤記念館ホールにはマスコミ、業界関係者、学生で超満員だった。

山本耀司氏はパリコレにヨーロッパの伝統や美意識を履し、従来の「モード」の既成概念を変革させたことで有名なデザイナーだ。そのパリに進出して三二年、クリエイティブな人は表現を継続しなければならないと云う過酷な運命にさらされ、年に一〇回以上の海外出張で時差との戦いだと語った。

仕事をするのが自然体のようだった。日本のファッショントークについてもクリエイションの核心に触れる部分がかけている。今は映像の社会だから仕方ないが、もっと本物を見る力を養うこと大事であると語った。

その後質問コーナーに入りデザイナーを志望する学生の質問にもつとハングリー精神を持たないと創造は生まれないと応えていた。世の中の変革は人々の怒りによつてもたらされるが巧みに誘導される若者たちにも同情を寄せていた。

その後、ロシア、オーストリア、BFGの学生のコレクションが発表され幕は閉じた。

彼は父親の死後、大学を卒業と同時に文化服装学院入学し、母親の洋裁店を手伝いながら、自分と葛藤続けた。この環境に育つた少年は様々な価値観の中で、時代に流されない反骨精神を養いながら服作りに邁進していった。

社会に反骨することが社会に貢献しているという怒りの精神を創造に変え、

山本耀司氏による特別講演がメインだ。会場になつた遠藤記念館ホールにはマスコミ、業界関係者、学生で超満員だった。

山本耀司氏はパリコレにヨーロッパの伝統や美意識を履し、従来の「モード」の既成概念を変革させたことで有名なデザイナーだ。そのパリに進出して三二年、クリエイティブな人は表現を継続しなければならないと云う過酷な運命にさらされ、年に一〇回以上の海外出張で時差との戦いだと語った。



BFGの学生のコレクション

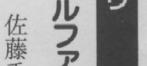
文化ファッショントークに参加して

内野 靖子

REPORT

No.41

支部だより



佐藤千鶴子（青森県）

II NDAコース II

<http://nihonyousou.or.jp/>

25年度秋の黄綬褒章受章

江種 勤（広島）

全技連マイスター認定

金武 節子（佐賀県）

八戸市は中心街活性化のため2011年震災直前に八戸ボータルミュージアムを開設いたしました。

震災のため運行が遅れましたがオーピニング記念イベントに当アトリエSenソーライン教室が招待され出演致しました。師走も押し詰まり準備期間も少なかったのですが幸い日本洋装協会のクチユールコレクションに一日から参加いたして作品を披露させて頂きましたので生徒も快く承諾してくれました。

新宿西口イベント広場で黄綬褒章、卓越技能賞受章祝賀会と新年祝賀会に出席高橋、中田、伊賀、佐藤千田、原田、広谷、日比出席内野、中野サンプラザ出席K K Rホール出席内野、中田、早川顧問、小幡、合田出席東技連新年会出席中野サンプラザ

1月23日 日本クリエーター新年会
1月31日 東技連新年会

1月7日 関係官庁へ挨拶まわり
1月8日 紳士服新年会

1月15～16日 職業訓練校技術フェア

1月17日 黄綬褒章、卓越技能賞

1月18日 受章祝賀会と新年祝賀会

1月19日 第59回 通常総会

2月21日 第9回 常務理事会

3月8日 初春講習会

5月18日 文化ファッショントーク

5月23日～24日 匠の技フェア

10月5日 コンクール審査会

11月7日 コンクール発表会

新橋ヤクトホール

クチュールコレクションの舞台を経験した11名の生徒さんが出演し市民の皆様からも大変感謝されました。北国の方々都市では日本洋装協会のイベントに参加させていただけることは良い刺激となり充実感が増します。今後も日本洋装協会のご指導を受けながら洋裁を広めて参りたいと存じます。

《新入会員》 金武 節子
佐賀県西松浦郡有田町戸内丙六七一十二